

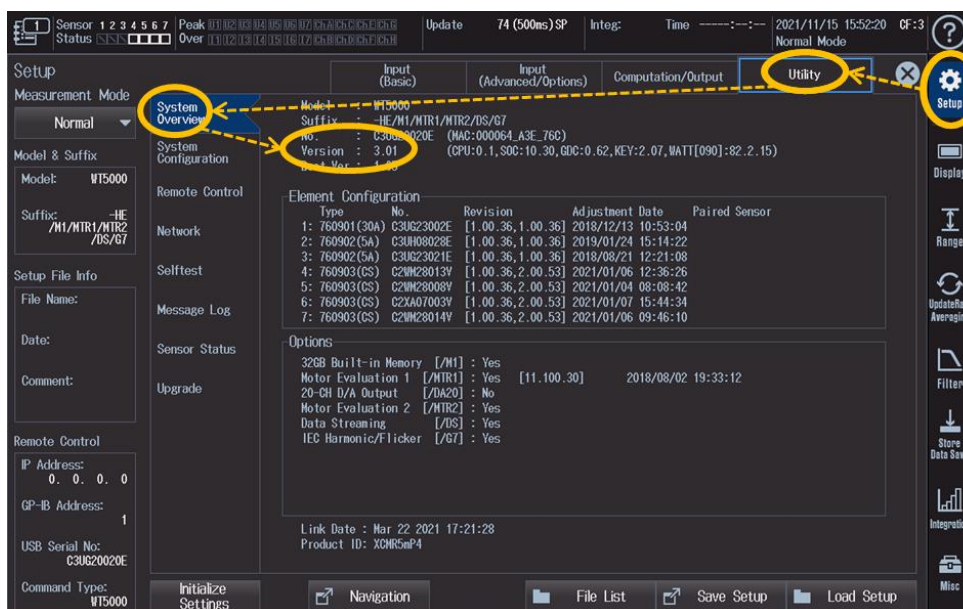
# アップグレード手順書

## WT5000 ファームウェアアップグレード 手順書

この手順書には、WT5000 プレシジョンパワーアナライザのファームウェアのアップグレードの方法が記載されています。アップグレードの際は、必ずこの手順書に従って実施してください。

### 1. アップグレードを開始する前に

- 1.1 ダウンロードしたファイルを解凍します。ファイルには、以下のデータが入っています。
  - wt5000.bin
  - procedure\_wt5000ja\_ed3.pdf(本手順書)
- 1.2 アップグレードをすると日付と時間以外の設定データが全て初期化されますので、必要な場合は設定を控えるか、設定情報をセーブしておいてください。また、通信設定は設定情報ファイルからのロード時に反映されません。通信をご使用の場合は、その設定を控えておいてください。
- 1.3 Setup → Utility → System Overview メニューで現在のバージョンを確認できます。



### 2. アップグレード

- 2.1 もしくは 2.2 いずれかの方法でアップグレードを実施してください。

#### 2.1 アップグレード方法 1(バージョン 3.01 以降のファームウェアをアップグレードする場合に実施可能)

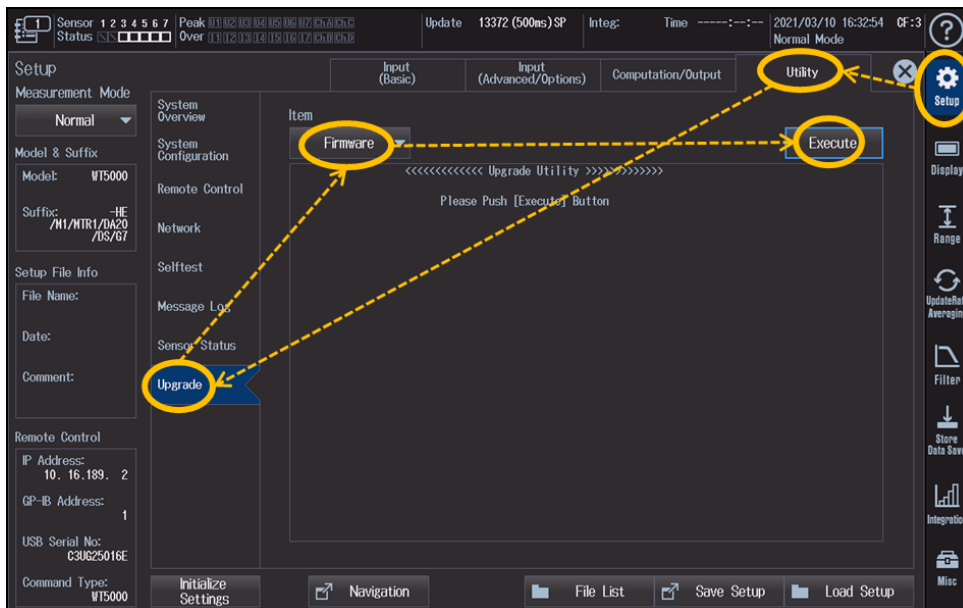
- 2.1.1 WT5000 の電源を入れます。
- 2.1.2 必要に応じて、設定情報をセーブし、通信設定を控えます。機能の詳細は製品のユーザーズマニュアルを参照してください。
- 2.1.3 内蔵ストレージ(User)のルートディレクトリに“wt5000.bin”をコピーします。

FTP サーバ機能、ネットドライブ機能を使用してネットワーク経由でコピーできます。また、USB ストレージを使用してコピーすることも可能です。各機能の詳細は製品のユーザーズマニュアルを参照してください。

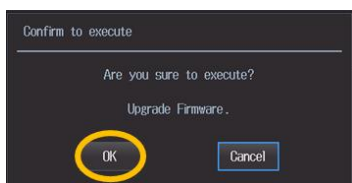
# アップグレード手順書

## WT5000 ファームウェアアップグレード 手順書

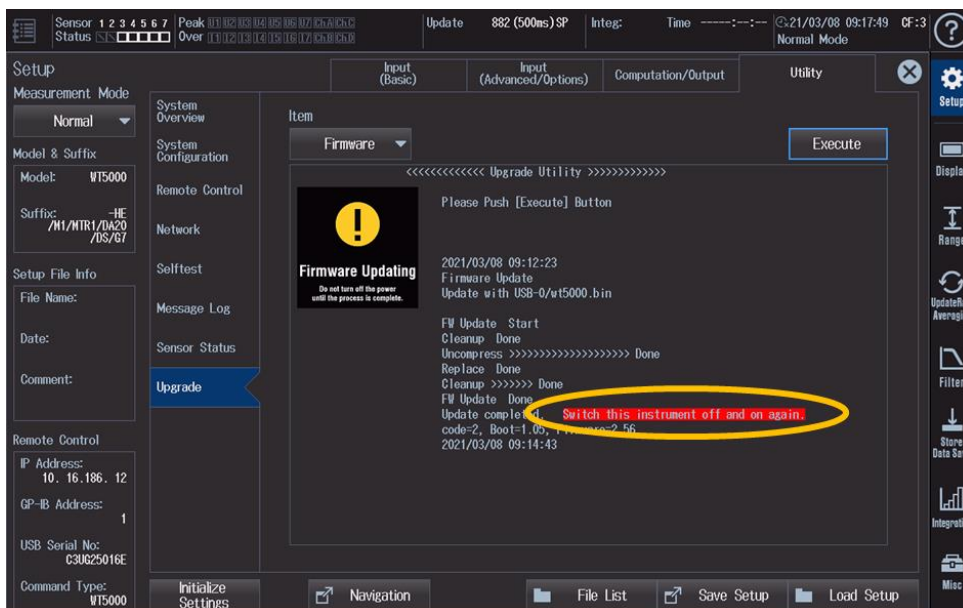
2.1.4 Setup -> Utility -> Upgrade メニューを開きます。Item を Firmware に設定します。Execute を押下します。



2.1.5 確認メッセージが表示されます。OKを押下すると、アップグレードが開始します。



2.1.6 アップグレードが終了すると以下のような画面になります。“Switch this instrument off and on again.”のメッセージが表示されます。所要時間は約 3 分です。アップグレードの途中で電源を切らないでください。故障の原因となる可能性があります。



# アップグレード手順書

## WT5000 ファームウェアアップグレード 手順書

- 2.1.7 一度電源を切って、再起動します。
- 2.1.8 3. アップグレードの確認を実施してください。

### 2.2 アップグレード方法 2(すべてのバージョンで実施可能)

- 2.2.1 フォーマット済みの、USB メモリを1つ用意してください。用意した USB メモリのルートディレクトリに“wt5000.bin”をコピーしてください。
- 2.2.2 必要に応じて、WT5000 の電源を入れ、設定情報をセーブし、通信設定を控えます。機能の詳細は製品のユーザーズマニュアルを参照してください。
- 2.2.3 WT5000 の電源を切ります。
- 2.2.4 ファームウェアをコピーした USB メモリを WT5000 の USB メモリドライブに挿入します。
- 2.2.5 WT5000 の ELEMENTS [5]キーおよび[6]キーを同時に押しながら WT5000 の電源を入れます。“Firmware Updating”の画面が表示されたらキーを放します。



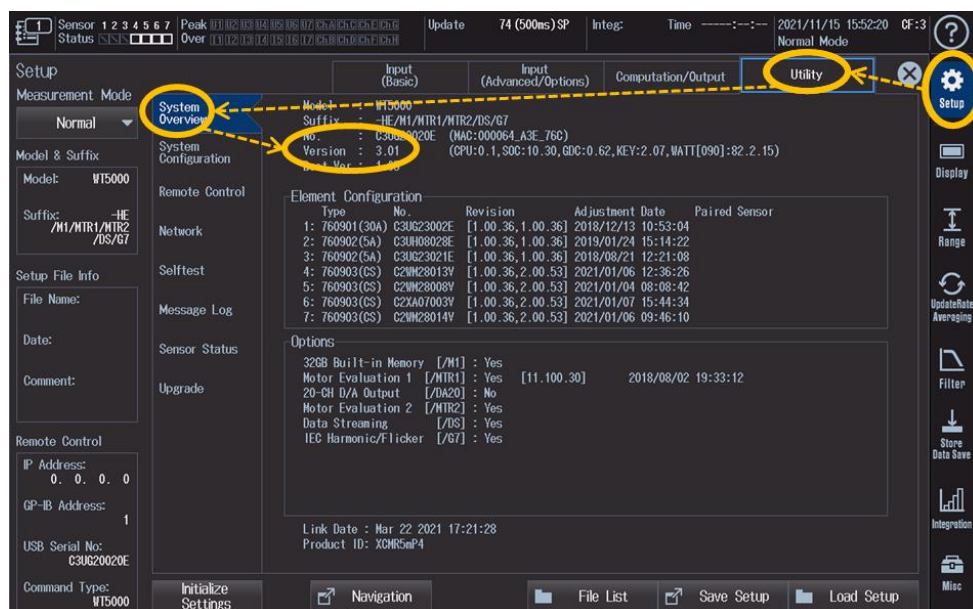
- 2.2.6 3 分程度で読み取りが終了し、自動的に内部メモリに書き込み作業が実施されます。アップグレードの途中で電源を切らないでください。故障の原因となる可能性があります。
- 2.2.7 内部メモリへの書き込みが終了すると、自動で再起動されます。
- 2.2.8 3. アップグレードの確認を実施してください。

# アップグレード手順書

## WT5000 ファームウェアアップグレード 手順書

### 3. アップグレードの確認

- 3.1 Setup → Utility → System Overview メニューを開きます。Version の数値がアップグレードしたバージョンと一致していることを確認します。



- 3.2 必要に応じて、2.1.2 または 2.2.2 でセーブした設定データをファイルからロードしてください。また、通信設定の項目は、手動にて設定してください。

以上